

令和元年度事業報告

公益財団法人として、新潟県における県民文化の高揚を図り、県民の生活向上と文化の発展に寄与するため、各種の文化振興事業を実施しました。

I 財団運營業務

1 評議員会・理事会の開催

財団運営の基本方針、事業計画、予算及び決算などを決議又は承認するため、次のとおり評議員会並びに理事会を開催しました。

(1) 評議員会の開催

	開催日・会場・出欠状況	審議事項・報告事項・協議事項
定 時 評議員会	令和元年6月18日 白山会館 出席評議員 6名 欠席評議員 4名 出席理事 2名 出席監事 1名	【議案審議事項】 1 平成30年度事業報告及び同附属明細書について (提案どおり決議) 2 平成30年度貸借対照表及び同附属明細書、正味財産増減 計算書及び同附属明細書並びに財産目録について (提案どおり決議) 3 理事の選任 (提案どおり決議) 4 監事の選任 (提案どおり決議) 【報告事項】 1 令和元年度事業計画について 2 令和元年度収入支出予算について 3 令和元年度資金調達及び設備投資の見込みについて 4 平成30年度収入支出補正予算について 5 特定費用準備資金の取崩し及び資金の状況について
臨 時 評議員会 第 1 回	令和2年3月10日書面決議 評議員全員の書面同意	【議案審議事項】 1 理事の選任について

(2) 理事会の開催

	開催日・会場・出欠状況	審議事項・報告事項・協議事項
定 時 理事会 第 1 回	令和元年5月22日 白山会館 出席理事 6名 出席監事 2名	【議案審議事項】 1 平成30年度事業報告及び同附属明細書について (提案どおり決議) 2 平成30年度貸借対照表及び同附属明細書、正味財産増減計 算書及び同附属明細書並びに財産目録について (提案どおり決議) 3 定時評議員会の招集にかかる日時及び場所並びに目的である 事項等について (提案どおり決議) 【報告事項】 ・特定費用準備金資金の取崩し及び資金の状況について

	開催日・会場・出欠状況	審議事項・報告事項・協議事項
臨時理事会 第1回	令和元年6月3日書面決議 全員(理事、監事)の書面同意	【議案審議事項】 1 定時評議委員会の日時及び場所並びに目的である事項等について ・評議員会第3号議案(理事の選任)の概要 ・評議員会第4号議案(監事の選任)の概要
臨時理事会 第2回	令和元年6月18日書面決議 全員(理事、監事)の書面同意	【議案審議事項】 1 代表理事及び業務執行理事の選定について 2 外部役員(監事)の賠償責任限定に関する契約の締結について
臨時理事会 第3回	令和元年10月29日 白山会館 出席理事 5名 出席監事 2名	【協議事項】 ・令和2年度の主な事業と予算の方向性について (提案どおり了承) 【報告事項】 ・令和元年度上半期の職務執行状況について
定時理事会 第2回	令和2年3月17日 新潟県民会館第一会議室 出席理事 6名 出席監事 2名	【議案審議事項】 1 令和元年度収入支出補正予算について (提案どおり決議) 2 特定資産取扱基準の改正について (提案どおり決議) 3 事業安定調整積立金資産の取崩しについて (提案どおり決議) 4 令和2年度事業計画について (提案どおり決議) 5 令和2年度収入支出予算について (提案どおり決議) 6 令和2年度資金調達及び設備投資の見込みについて (提案どおり決議) 7 令和2年度財産運用計画書について (提案どおり決議) 8 業務執行理事の選任について (提案どおり決議) 【協議事項】 ・役員就任時に記入する誓約書について ・令和2年度財団事業と新型コロナウイルス感染防止について (提案どおり了承) 【報告事項】 ・令和2年度における県民会館の改修計画について
臨時理事会 第4回	令和2年3月4日書面決議 全員(理事、監事)の書面同意	【議案審議事項】 1 臨時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について ・臨時評議員会第1号議案(理事の選任)の概要 2 第1号議案により理事が選任された場合に、外部役員賠償責任限定に関する契約を締結することについて

2 組織体制

財団事務局の業務を円滑に進めるため、次の体制で効率的な管理運営を図りました。

(1) 役員等の人数 (令和2年3月31日現在)

評議員 (10名)	平成30年7月から現体制 (評議員1名辞任)
理事 (6名)	理事内訳 < 代表理事(1名)+業務執行理事(1名)+理事(4名) > (平成31年4月1日から理事を1名増員し理事6名体制)
監事 (2名)	

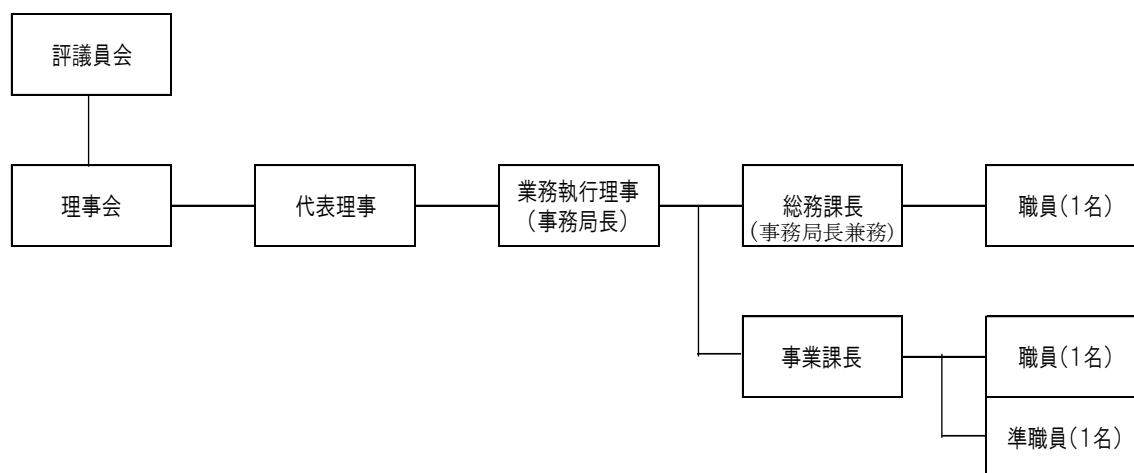
(2) 職員数 (令和2年3月31日現在)

事務局長	職員	準職員	計
1名	3名	1名	5名

※ 総務課長が退職(H30.3.31)し、平成30年度から現体制

※ 準職員(非常勤)の勤務が5年を経過する令和2年4月1日より準職員を職員として雇用

(3) 組織図 (令和2年3月31日現在)



※ 総務課長は事務局長が兼務する。

3 基本財産の管理運用

当財団財産管理運用規程第4条(基本財産運用方針)及び第6条(運用対象)の規定に基づき、基本財産12,193千円を定期預金として継続的に安定した管理運用を行っています。

II 事業体系

1 文化振興事業費 50,344 千円《公益目的事業会計》

—(1) 文化自主事業		28,208 千円
① 芸術文化普及・ホール活性化支援	11,251 千円	
② 地域中核ホール活性化支援	12,218 千円	
③ ふれあいホッとコンサート	3,220 千円	
④ その他、事務費	1,519 千円	
—(2) 文化活動支援事業		16,591 千円
① 県民文化活動推進事業	9,370 千円	
② 国民文化祭参加事業	0 千円	
③ 国民文化祭関連(郷土文化人顕彰)事業	6,500 千円	
④ 新潟県総合美術展褒賞事業	706 千円	
⑤ その他、事務費	15 千円	
—(3) 情報収集提供事業		5,545 千円
① 文化情報誌「カルチャーにいがた」発行	5,491 千円	
② オンライン情報提供	—	
③ 芸術文化関係図書購入	54 千円	
—(4) 文化関係機関連携事業		その他、事務費を使用

2 管理費 31,557 千円

《公益目的事業会計 16,488 千円、法人会計 15,069 千円》

—(1) 人件費		27,391 千円
—(2) 運営費		4,166 千円

総事業費計 81,901 千円《公益目的事業会計 66,832 千円、法人会計 15,069 千円》

Ⅲ 事業概要

1 文化振興事業《公益目的事業会計 事業費 50,344 千円》

(1) 文化自主事業

《事業費 28,208 千円》

① 芸術文化普及・ホール活性化支援事業（県補助金対象事業） 11,251 千円

日頃「生の演奏」に接する機会の少ない県民に「身近で手頃な」鑑賞機会を提供するとともに、低迷する地域のホールの活性化を支援するため、県内各地域と共催で各種公演を実施しました。

なお、限られた財源を有効に活用するため、当財団が中心となって県内9団体と実行委員会を組織し、文化庁の補助金を活用して事業を行いました。

○マイタウンコンサート 6会場

○舞台芸術への県民参加推進プロジェクト 計8会場

・鼓童交流公演2019

・はじめての落語

・奥村愛ヴァイオリン・クアルテット

・東京バレエ団 子どものためのバレエ「ドン・キホーテの夢」

・野村萬斎によるはじめての狂言

・親子で歌いっごう！日本の歌百選ファミリーコンサート

・プラハ・チェロ・カルテット

・劇団四季ファミリーミュージカル「はだかの王様」

燕市文化会館

はとぴあ中郷

柏崎市文化会館

見附市文化ホール

糸魚川市民会館

長岡市寺泊文化センター

胎内市産業文化会館

南魚沼市民会館

② 地域中核ホール活性化支援事業（財団独自財源事業） 12,218 千円

県民会館で培ったノウハウをもとに、おおむね1,500席程度の地域中核ホールと共催で質の高い公演を実施しました。

○劇団四季ミュージカル「エビータ」

○新潟ダンスの祭典

上越文化会館

新潟県民会館

③ ふれあいホッとコンサート 3,220 千円

財団の事業や基本財産の運用で得た利益を社会還元するため、身体的な理由等でホールに足を運べない人々（高齢者施設や病院、特別支援学校）を対象にアウトリーチによるコンサートを県内各地で開催しました。

○病院 4箇所

○特別支援学校 2箇所

○特別養護老人ホーム 5箇所

④ その他、事務費 1,519 千円

(2) 文化活動支援事業**《事業費 16,591 千円》****①・② 文化活動支援助成金**

県民の文化への関心を高め、自主的な文化活動の活発な展開と個性豊かな県民文化の振興に寄与するため、県内の文化団体等の自主的な文化活動にかかる事業に対し助成金を交付しました。

○対象となる文化活動の範囲

- (ア) 美術、(イ) 音楽、(ウ) 演劇、(エ) 舞踊、(オ) 文学、(カ) 映画、(キ) 生活文化、
(ク) その他（県民文化の振興、創造に寄与するもの）

○対象事業と助成額

事業名称	事業内容	助成 件数	助成額 (単位：千円)
県民文化活動推進事業	地域性、独自性、継続性の点で優れた活動に対する助成	20	9,370
国民文化祭参加事業	文化庁が主催する国民文化祭に出演する活動に対する助成	0	0

※国民文化祭参加事業は本県開催のため助成はなし。

③ 郷土の文化人顕彰事業

国民文化祭の関連事業として、郷土の文化人についてその功績を明らかにし、地域文化とその価値の再認識を図る事業を委託により実施しました。

【委託先：(公財)にいがた文化の記憶館】

○上期(6/8～8/25)：にいがたの映画人 3,500 千円

○下期(9/10～12/1)：病とたたかう—近代医学と新潟県人 3,000 千円

④ 新潟県美術総合展褒賞事業

次代を担う若手美術家の育成を図るため、公募総合展において優秀な成績を収めた者(主に展覧会における若手・新人)に公益財団法人新潟県文化振興財団賞を授与しました。

706千円

- ・対象美術展：新潟県美術展覧会(県展)、新潟県芸術美術展(芸展)
- ・表彰点数：県展7部門(洋画、日本画、版画、彫刻、工芸、書道、写真)
：芸展6部門(同上(版画を除く))
- ・授与物：賞金3万円及び表彰楯(県展・芸展共通)

⑤ その他、事務費

15千円

(3) 情報収集提供事業**《事業費 5,545 千円》**

県内外の催事情報や芸術関係情報、県内アーティスト等の文化関連情報を収集し、文化情報誌「カルチャーにいがた」、ホームページを通して県民に提供しました。

事業名	事業内容
① 文化情報誌「カルチャーにいがた」発行 5,491千円	○年4回発行 1回15,000部 (A4判 16ページ) ○配布先 (無料配布) ホール、博物館・美術館、図書館、金融機関、ホテル、JA関係施設、大学等
② オンライン情報提供事業 —	県が管理運営する「新潟文化物語」にイベント情報を一元化し、情報登録する関係者の手間を省くことで、漏れのない情報を財団HPからのリンクで県民に提供(スマートフォンやタブレットでも対応)。このほか、Facebook、Instagramでの情報発信も実施。
③ 芸術文化関係図書購入 54千円	芸術文化関係情報として新潟県民会館情報ラウンジで閲覧に供する。「音楽の友」「音楽現代」「レコード芸術」「ダンスマガジン」等

(4) 文化関係機関連携事業**《事業費は(1)及び実行委員会予算を使用》****① 文化事業情報交換会****((1) ④のその他、事務費を使用)**

県内文化関係者(興行主催者が中心)が一堂に会し、興行計画等の情報を提供し合い意見交換会を行いました。(当財団が事務局)

○ 令和元年6月24日(月) 18団体、35名参加

○ 令和2年3月 3日(火) 17団体、30名参加

② 平成31年度舞台芸術への県民参加推進プロジェクト実行委員会事業**(実行委員会予算は別途)**

文化庁の補助金対象事業である「文化芸術創造拠点事業」について、9団体で実行委員会(当財団が会長・事務局)を組織し、17事業20公演を実施しました。

※平成30年度から文化庁補助事業として「舞台芸術への県民参加推進プロジェクト事業」を実施しました。

(この事業以前に、3か年事業として実施してきた「新潟県次世代の舞台芸術担い手育成事業」は平成29年度をもって終了しました。)